

# PARTNER

PARTNER

2019.10.15 発行

No. 41

主な内容

- あなたも私もイキイキ人生
- 消防士体験学習
- みんなで考える「男女共同参画」
- 今後のイベント情報
- 相談機関のご案内

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議

事務局 秦野市役所くらし安心部市民相談人権課  
秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-5128 FAX.0463-82-2001

E-mail s-soudan@city.hadano.kanagawa.jp



手振りを交えて熱弁する講師

モーツァルトの軽やかなテンポに乗せて、颯爽と登場したアマデウス大西さん。マイクの前に立った瞬間からユーモアたっぷりのお話が始まり、あっという間に会場が笑いに包まれていきます。その内容も、人権・男女共同参画やイキイキと生きる秘訣を、日常の出来事や最近のニュースなどをキーワードにしており、とても分かりやすいお話でした。トークの合間には、「世界に一つだけの花」「糸」「花は咲く」「愛の讃歌」と世代を超えて愛されている曲のピアノ演奏があり、力強くも繊細なタッチに会場中が酔いしれました。公演の最後には講師の伴奏で、会場全体が「故郷」「赤い靴」「高校三年生」を大合唱。魅惑のピアノ演奏あり、爆笑

## 笑子高齢化社会を目指して

令和元年6月22日、秦野市本町公民館多目的ホールで、「ピアノ&お笑いトーク癒しのソムリエ」の異名を持つマルチ音楽家のアマデウス大西さんをお招きして、「はだの男女共同社会フォーラム2019」を開催しました。ここ数年、女性だけでなく、男性の参加者も増えてきており、今年は全体の3割以上が男性参加者となりました。

# あなたも私もイキイキ人生

音楽と笑顔に勝るクスリなし

**健康のか・き・く・け・こ**

か…感動する  
風邪をひかない

き…興味を持つ  
気に病まない

く…工夫する  
食い意地を張らない

け…健康診断を受ける

こ…心をときめかせる  
転ばない

※講師のお話より

ある脳科学者と医療研究所が発表している「健康で長生きする秘訣」を分かりやすくお話していただきました。いくつになっても、いろいろなことに興味や関心を持つたり、心をときめかせることが大切とのこと。シンプルですが意外に実行するのが難しいと思われた方もいらつしやるのではないのでしょうか。この「健康のか・き・く・け・こ」に「イキイキ人生」を送る秘訣が盛り込まれていきますのでぜひ実行してみてください。

## イキイキ人生の秘訣

トークあり、会場が音楽と笑いでいっぱいになりました。

講師は、大阪音楽大学のピアノ科を卒業後、30年間高校で音楽の教諭を務めた後、「子どもが笑い、老いも若きも幸せに年を重ねていく社会」を目指し、奈良市をはじめ全国各地で公演・コンサート活動を行っています。

公演の中で男女共同参画に関するクイズが出されました。「お父さんとその息子がけがをして、別々の病院に運ばれました。息子が運びこまれた先のお医者さんが、「この子は私の息子です。」といいました。なぜでしょう？」今までのにぎやかな雰囲気から一転、なかなか答えが出ず、会場は沈黙に包まれました。答えは簡単！そのお医者さんが女医さんだったからです。正解を言われた時、会場では「ああ、なるほど。」という表情をされた方が大半でした。このことから、**医者≠男性**という先入観がまだ残っている現状に気づかされます。また、逆に、「**女医≠広島カープ女子**」「**日傘男子**」など、知らず知らずのうちに、先入観のある言葉を使ってしまうことはありませんか、との問いに、「フーン、そういうえは…」という表情をされている方が多く見られました。

社会や慣習の中に残る固定観念に気づき、性別にとらわれず、自分らしさやその人らしさを大事にする意識を持つことが大切です。



ユーモアたっぷりのお話に笑顔があふれます

## 男女共同社会の壁「固定観念」

## 参加者の声

### フォーラムの感想



- 全曲良かった。こんなに笑ったことは久しぶりでした。
- お医者さんの話で、医者といったら男性を思い浮べる自分の考えから、男女共同社会をもっと進めていく必要があると感じた。
- 生演奏がすごく素晴らしかった。声を出して歌えてよかった。先生のトークはとても面白かった。
- 「糸」「世界に一つだけの花」「花は咲く」は、力強い演奏で元気をもらえました。
- 全て知っている曲で楽しかったです。医者≠男性のイメージが根強く自分の中にあるのだなと感じました。
- 「はだの市民が創る男女共同社会推進会議」があることを知りませんでした。秦野にも素敵な組織があることを在任20年で初めて知りました。
- 「音楽と笑顔に勝るクスリなし」という言葉が最高でした。
- 初めての参加ですが、これからの人生をとってもポジティブに考えることができました。
- 会場の皆さまと一緒に曲を歌うことができて心から晴れやかになりました。



# 女の子も男の子も、みんなで **お仕事体験!** ～「消防士体験学習」を取材～

夏休みの7月30日、秦野市消防本部にて消防士の体験をする「みんなでお仕事体験」を取材してきました。当日は、小学生の男女14人（男子8人、女子6人）と保護者が参加し、消防署内及び消防車の見学、はしご車の乗車体験、放水体験など盛りだくさんの内容でした。

初めは緊張していた子どもたちも、次第に慣れ、消防士の説明を聞く様子は真剣そのもの。放水体験では、女性消防士の指導のもと、重いホースを持ち、的に向けて放水スタート。はしご車の乗車体験では、はしごがビル10階分の高さまで到達すると、子どもたちだけでなく保護者からも大きな歓声が上がりました。

現在、秦野市では消防職員約200人のうち8人の女性消防職員がいます。当日は、消防隊員4年目、救急隊員6年目の女性職員からお話を伺いました。2人とも、誇りとやりがいを持って、日々の業務に励んでいられることが伝わり、大変頼もしく感じました。

幼い頃から、性別にかかわらず、いろいろな仕事に関心を持つことは、とても大切です。また、今回のように実際に体験をしてみるということは素晴らしいことです。

これからも、やってみたい仕事や将来の夢を、性別にかかわらず自由に選ぶことができる社会をつくっていきましょう。

### 参加した子どもたちの感想

- ★はしごで30メートルまで上がったけどこわくなくてとても楽しかったです。
- ★はしご車に乗ったことが一番楽しかった。
- ★もう、とても楽しすぎて困った。
- ★消防士さんになりたいです。
- ★放水体験とはしご車が楽しかった。
- ★次は、消火器体験をやってみたいです。



女性消防隊員と一緒に親子で放水体験

## みんなで考える?

### 「男女共同参画」



#### ◆男女共同参画って何だろう?

「男の子だから」「女の子だから」「男の子のくせに」「女の子のくせに」とか言われたことはありますか?

女子・男子といった性別に関係なく、お互いの長所や「自分らしさ」を認め合って、みんなで協力していくことを「男女共同参画」といいます。

#### ◆男女共同参画は、なぜ必要なんだろう?

好きなことや得意なことは、人それぞれです。

だれもが自分の個性や能力をいかせる社会では、みんな平等にチャンスがあり、いろいろなことにチャレンジすることができます。そのような社会では、一人ひとりがイキイキと自分らしい生活を送ることができ、それが元気であり続けることができる社会へとつながっていくからです。

※「参画」とは、単に参加するだけでなく、自ら責任を持って関わることをいいます。

## イベント情報

### はだの市民が創る男女共同社会推進会議

行政と連携し、男女共同社会を実現するための市民組織として、平成5年から活動しています。

#### ★主な活動★

#### 11月3日(日)祝 市民の日

男女共同参画アンケートにご協力いただいた方に、おいしくてボリュームのあるフランクフルトを100円で販売します。

場所はカルチャーパーク第2駐車場(文化会館と陸上競技場の間)



#### 11月21日(木) 女性に対する暴力防止キャンペーン

11/12～25の「女性に対する暴力をなくす運動」週間に合わせ、啓発活動を行います。女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されない行為です。

◆場所：秦野駅周辺 ◆時間：午後6時から

#### 11月23日(土)祝 人権・男女共同参画を考える会

公演会のほか、表彰式やパネル展示などを行います。

#### 「感謝の心で奏でる津軽の響き」

……………講演、三味線演奏

- ◆会場：秦野市保健福祉センター 多目的ホール
- ◆時間：午後2時から午後3時30分
- ◆講師：来世楽(らせら 津軽三味線ユニット)

事前申込制(先着順)

◆受付電話：0463(82)5128(市民相談人権課) ♥手話通訳あり  
0463(82)7618( )



## 女性のための悩み相談室(秦野市)

～相談費用は無料・秘密は厳守します～

相談日 毎週月～木曜日、第2土曜日(祝日・年末年始を除く)

相談時間 午前10時～正午、午後1時～3時

相談内容 夫婦、家族、職場の問題など女性の悩み全般

相談方法 ①電話相談：上記の相談時間内に直接お電話ください。ただし、第2土曜日は、事前予約制です。

【専用電話】0463(83)1812

②面接相談：前日までにお申込みください。

【予約電話】0463(82)5128

(市民相談人権課)

※第2土曜日は、電話相談、面接相談ともに事前予約制です。

編集後記  
会津若松市では「男女平等に関する作文コンクール」を毎年開催しています。その中の一部を紹介します。「私のいえでは、お母さんとおばあちゃんが家のしごとをしています。いえのしごとは、女の人ができるものとみんなおもっていると思います。でも、男の人がしても私はいいと思います。男だからとか、女だからとかではなくて、できる人がやるのがいちばんいいと思います。」(平成17年度 小学生低学年の部 優秀賞 鴻巣佑惟さんの作文から引用) この作文は男女平等について考え、家の仕事を日々担っている母と祖母の性別役割への違和感を表現しています。男女共同社会推進会議では意識啓発など実践的な成果がでるように、これからも一歩一歩前進していこうと思います。  
令和元年度広報部員 伊東貞美・大園克己・小泉裕子・白鳥光子・内藤和子・南場厚志・古家九二雄・渡辺稔・山谷洋子